

泌尿器科受診の患者様へ

当院では「転座腎細胞癌の実態把握と解析—多施設共同研究」
を行っています

腎細胞癌は、腎臓に発生する悪性腫瘍です。その中で大多数を占める淡明細胞癌は、治療法や治療の効果などについて、多くのデータがあります。しかし、転座腎細胞癌は症例数が少なく、まとまったデータがなく、十分な検討がなされているとはいえません。

腎癌研究会では、この度、転座腎細胞癌症例を収集・解析し、本邦における実態を検討する研究を計画しました。

当院では、この腎癌研究会の研究に協力しています。

**これまでの診療録の情報を使用しますので、
新たな質問や検査の必要はありません**

この観察研究では調査の対象となる方のカルテ(診療録)や検査結果から下記の情報を集めます

- ①診断時の性別・年齢②既往歴③家族歴④調査時の患者様の状態
- ⑤臨床病期⑥初回治療内容⑦病理診断結果

下記の期間中に腎癌の治療を開始された方が調査の対象となります
2001年1月から2015年12月まで

お名前や個人情報が公表されることは一切ありません

必要な情報のみを統計資料として集計しますので、当院外にお名前がでることは一切ありません。

この調査にご自分の診療録を使ってほしくない方はお申し出ください

この調査へのご自分の診療録の使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。その場合は、担当医にお申し出ください。

責任者:泌尿器科 市川孝治

国立病院機構岡山医療センター

連絡先: TEL086(294)9911